

平成30年度 主な事業の要求・査定状況

※主な事業とは、市が実施しようとする新規事業・投資的経費等を中心に抜粋したもので、市が行う全ての事業を掲載したものではありません。

消防局

(単位:千円)

担当課	小事業	要求額	要求内容	査定額	査定理由
総務課	消防団活性化事業経費	1,590	消防団員が指導的な役割を担い、地域住民や防災活動団体等と連携して病院前救護を行うメディカルラリーを開催する。	1,000	B
消防課	消防設備整備事業	24,326	消防団施設の防災拠点となるポンプ格納庫等の施設改修	0	D
消防課	消防車両整備事業	172,131	長期の使用により性能低下した高規格救急車等の更新配備	123,000	B
消防課	消防車両整備事業	14,310	長期の使用により性能低下した消防団用軽四輪積載車の更新配備	9,200	B
消防課	小型動力ポンプ整備事業	8,100	長期の使用により性能低下した消防団の小型動力ポンプの更新配備	6,400	B
消防課	防火水槽整備事業	23,254	水利不便地域での地下式防火水槽の新設	0	E
消防課	消火栓整備事業	19,727	火災発生時において消防活動に必要な水利を確保するための消火栓の新設及び維持補修整備	19,700	B
消防課	ポンプ格納庫整備事業	24,117	消防団施設の防災拠点となるポンプ格納庫の新設	0	E

査定理由 A: 要求どおり全額を認めているもの

B: 単価・数量・金額を精査し、所要額を予算措置したもの

C: 実施方法の変更や内容の見直しを行い、所要額を予算措置したもの

D: 優先順位をつけ、一部もしくは全部を次年度以降に先送りしたもの

E: 実施時期・事業効果の検討等、内容調整が必要と判断したもの

F: 国の補正予算を活用して、一部もしくは全部を平成29年度に前倒ししたもの